

株主様向け施設見学会のご報告

2017年8月、株主様に当社および京王グループへのご理解を一層深めていただくことを目的として、2コースの施設見学会を実施し、応募者多数により抽選のうえ、合計204名の方にご参加いただきました。

参加された皆様の声(抜粋)

1 若葉台工場

開催日：8月22日

電車の検査と整備の様子をご見学いただきました。



車両の吊り上げ



分解した部品の説明

(電車の車両を)ここまで分解して、点検・整備を行っていることに驚きました。

(電車が)走行している裏側では、大変な労力で保守・点検されていることがわかりました。今後電車に乗るときには、こういった点の認識を新たにして乗りたいです。

夏休み期間中でもあり、親子連れも多い中、子供にもわかりやすく説明され、大人も楽しめる内容でした。また、なごやかな雰囲気、工場長さん、職員さん皆さんのあたたかい人柄も感じられました。

2 京王れーるランド

開催日：8月23日

休館日にご見学いただき、お楽しみいただきました。



小型運転体験シミュレータ



ジオラマ展示【HOゲージ】

大人でもゆっくり楽しむことができ、ほんとうに楽しかったです。参加させていただき感謝します。

小学3年生の孫も終始笑顔でした。夏休みの良い思い出になったことと思います。ありがとうございました。

子どもと毎年見学会を楽しみにしています。これからも続けてほしいです。

表紙の説明 高尾線開通50周年記念ヘッドマーク付 京王線8000系ラッピング車両

この資料には、決算公表時点における将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

INVESTOR'S GUIDE けいおう 2017年11月発行

発行/京王電鉄株式会社 経理部
☎042-337-3166
〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1
京王ホームページ www.keio.co.jp/

■株主優待など株式に関するお問合せ

総務法務部 文書・株式担当 ☎042-337-3114
10:00~17:00 (土日祝日および年末年始の12月29日から1月3日を除く)

■電車の運賃や時刻、沿線のイベント情報についてのお問合せ

京王お客さまセンター ☎042-357-6161
9:00~19:00 (年末年始の12月30日から1月3日は休業)



INVESTOR'S GUIDE

けいおう

2017年度 第2四半期報告 2017.4.1~2017.9.30



証券コード：9008

KEIO 京王電鉄株式会社

ごあいさつ

京王電鉄株式会社 代表取締役社長

紅村 康



平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当期(2017年度)の京王グループは、中期3カ年経営計画(2015~2017年度)の最終年度として、成長に向けた土台づくりの完遂に向け、「鉄道事業の安全性・収益力の向上」「沿線拠点の活性化・沿線価値向上への取り組み」「将来的に成長が見込める事業の拡大」などの各施策をグループ全体で推進しております。

当第2四半期決算の概要

当第2四半期は、運輸業や建築・土木業などを中心に売上・利益ともに前年に対して増加したことなどにより、純利益は対前年1.1%増の146億

円となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき4円50銭といたしました。中間配当金を含む年間配当金につきましては、連結配当性向30%を目安としており、引き続き利益の確保に努めてまいります。

中期3カ年経営計画の取り組み状況

現在の京王グループを取り巻く経済環境は、企業収益の回復、雇用情勢の改善などにより、全体としては緩やかな回復基調が続いております。また訪日外国人が増加を続け、インバウンド需要も多様化しながら裾野を広げていると捉えております。このような状況において、京王グループでは、

以下のような施策に取り組んでおります。

● 鉄道事業の安全性・収益力の向上

鉄道事業においては、京王線(笹塚駅~仙川駅間)連続立体交差事業を事業主体である東京都とともに引き続き推進していくほか、耐震補強工事やホームドア整備事業なども着実に進めております。また新型車両「5000系」を導入し9月から通常列車として営業運転を開始するなど、来春の座席指定列車の運行開始に向け、準備を進めております。

● 沿線拠点の活性化・沿線価値向上への取り組み

当社沿線においては、調布エリアの新たなランドマークとして9月に「トリエ京王調布」を開業したほか、多摩動物公園駅前では、来春の開業を目指して「京王あそびの森 HUGHUG(ハグハグ)」の建設を進めております。今後も、沿線が将来にわたり活力を維持し、幅広い世代の方々にとって暮らしやすく魅力的な街となるよう、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」づくりを進めてまいります。

● 事業の拡大

事業の拡大については、8月に「京王プレッソイン東京駅八重洲」を開業したほか、12月には「京王

プレッソイン浜松町」を開業予定です。シェア型複合ホテル「THE SHARE HOTELS」では3号店を函館、4号店を金沢に開業したほか、今後も出店を進めてまいります。また、新ブランドとなる宿泊特化型アップーミドルホテル「京王プレミアホテル」では、1号店となる京都および2号店となる札幌で建設に着手するなど開業準備を進めております。加えて、中央高速バスで新宿とつながる高山市においてブランド力の強い「高山グリーンホテル」との連携をさらに強め、中央道を中心とするインバウンド戦略を推進してまいります。このように、宿泊に対する多様化するニーズを的確に捉え、成長の機会を掴んでまいります。

これからも、将来に向けた収益・利益拡大に取り組むとともに、企業としての社会的責任を果たすことで、京王グループの企業理念である「信頼のトップブランド」の確立を目指してまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

沿線拠点の活性化

9/29 トリエ京王調布OPEN



調布駅に新しいランドマーク「トリエ京王調布」が誕生しました。「地上を鉄道が走っていた記憶を残したい」という地域の方々の声に応え、壁面緑化のフレームや床面に本物の鉄道レールを埋め込み、街の歴史や「京王らしさ」を感じられるデザインとしました。



4F 「京王百貨店」のサテライトショップ。ご購入物にも使える食品から上質なファッションアイテムまで取り揃えたほか、店頭にはない商品も新宿店やインターネットから取り寄せてご購入いただけます。

座席の動きや雨、香りなどの演出を楽しめる「4DX®」が導入されています。

C館		B館	A館		
5F	シネマコンプレックス イオンシネマ シアタス調布	4F	家電量販店 ビックカメラ	5F	カジュアルレストランフロア
4F		3F		4F	ライフスタイルフロア
3F		2F		3F	デイリーファッションフロア
2F		1F		2F	セレクトファッションフロア
1F	カフェ・レストラン ・サイクルショップなど	1F	カフェ	1F	調布駅中央口 フーズフロア
B1F				改札F	調布駅東口

1F 「猿田彦珈琲 調布焙煎ホール」。焙煎作業を間近に眺めながらコーヒーを楽しめます。

1F 関東最大級の「成城石井」。食品スーパーと飲食スペースを組み合わせた新しいタイプの店舗です。

沿線価値の向上

春(予定) 「京王あそびの森 HUGHUG(ハグハグ)」OPEN



【イメージ】

日本最大級のネット遊具や屋内ミニSLなど、「木育」「体育」「知育」を楽しめる全7種類の遊び場がある、国内では有数のお子様向け全天候型の大型遊戯施設です。お子様メニューや個室もあるカフェレストランを併設します。



担当者インタビュー

開発事業本部開発推進部
沿線事業担当
課長補佐 露木 一夫

Q 事業への想いは？

「お子様が自然豊かな森をイメージして、めいっばい遊べる日本一の施設を作る！」を目指し取り組んでいます。

Q 注目ポイントは？

一番はもちろん遊び場ですが、施設の外装・内装デザインにもこだわりました。地域と調和し、幅広い世代の方々に気に入っていただきたいと試行錯誤を重ねました。多摩産の木材を使い自然の風合いを活かしつつ、カラフルな色調を差し色として取り入れています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

2017年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2018年 1月

2月

3月

春

事業の拡大

5/26 HakoBA函館 OPEN

老朽化した建物を有効活用したシェア型複合ホテルの3号店・4号店です。宿泊はもちろん「KUMU金沢」の「茶会」など地域に根差した体験を提供します。今後も地方の中核都市を中心に積極的な事業展開を計画しており、2020年までに10店舗体制を目指します。

8/30 KUMU金沢 OPEN



HakoBA函館

事業の拡大

8/28 京王プレッソイン 東京駅八重洲 OPEN

12/20(予定) 京王プレッソイン 浜松町 OPEN

8月に開業した東京駅八重洲は、ビジネスやレジャーのお客様にご好評いただき堅調に推移しています。12月に開業予定の浜松町は、建物が竣工しお客様をお迎えする準備を着実に進めています。



京王プレッソイン浜松町【イメージ】

その他

3/17(予定) 相模原線 加算運賃の引下げ

相模原線建設事業費の回収を目的に、京王多摩川～橋本間に設定している加算運賃について、建設事業費の回収が進捗していることから、引下げを実施します。

加算運賃改定額(大人運賃・定期は1カ月の場合)

普通	△ 20円(現行 10円の区間は△ 10円)
通勤定期	△ 750円(現行380円の区間は△ 380円)
通学定期	△ 370円(現行160円の区間は△ 160円)

鉄道事業の安全性・収益力の向上

春(予定) 新型車両「5000系」座席指定列車運行開始

当社初となる有料の座席指定列車運行開始に向けて準備を進めています。9月にはポータルサイトを開設し、担当者による車両開発秘話などを紹介し5000系のさらなる魅力を発信しました。またお客様向けの試乗会も開催し、大変ご好評をいただきました。1月にはいよいよ座席指定列車の愛称が決定する予定です。今後もさまざまな情報を随時発信しお客様への認知度向上とご利用喚起を図ります。



決算の概要

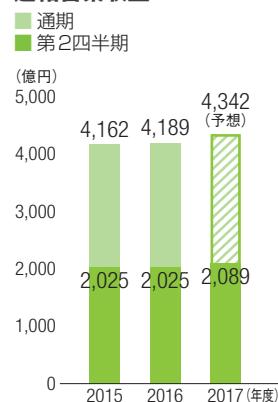
第2四半期決算のポイント

[連結損益計算書]

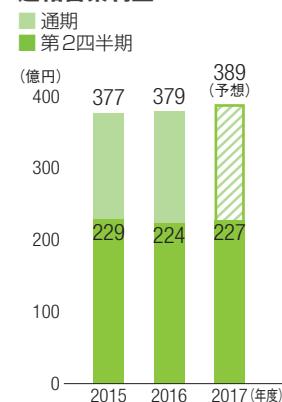
POINT 1 連結営業収益が2,089億円となりました。

レジャー・サービス業を除く各セグメントで増収となり2,089億円(前年同期比3.1%増)となりました。

連結営業収益



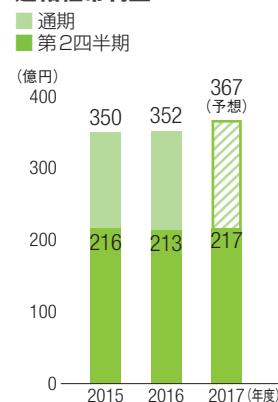
連結営業利益



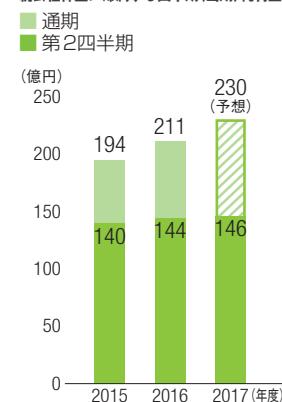
POINT 2 親会社株主に帰属する四半期純利益が146億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、運輸業およびその他業を中心に増益となったことなどから146億円(前年同期比1.1%増)となりました。

連結経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



※当社および京王重機整備は複数の事業セグメントに重複して含まれています。
※セグメント別の概況に記載の営業収益および営業利益には、セグメント間取引を含みます。
※会社名および会社数は、2017年9月末現在のものです。

セグメント別の概況

運輸業 ●京王電鉄(鉄道)、京王電鉄バス、京王自動車、他 14社	営業収益 661億円(前年同期比 1.4%増) 営業利益 108億円(前年同期比 5.3%増)	●鉄道事業では、雇用情勢の改善や沿線施設の来訪者増加などにより、旅客運輸収入は増収となりました。 ●バス事業では、路線・貸切などで増収となりました。
流通業 ●京王百貨店、京王ストア、京王書籍販売、他 5社	営業収益 771億円(前年同期比 3.3%増) 営業利益 16億円(前年同期比 18.7%減)	●百貨店業では、インバウンド売上の好調などにより増収となりました。 ●ストア業では、新規・改装店舗が寄与したことなどにより増収となりました。 ●ストア業で開業に伴う費用が増加したことなどにより減益となりました。
不動産業 ●京王電鉄(開発)、京王不動産、リビタ、他 3社	営業収益 188億円(前年同期比 0.5%増) 営業利益 49億円(前年同期比 3.6%減)	●不動産賃貸業では、賃貸物件の増などにより増収となりました。 ●不動産賃貸業において費用が増加したことなどにより減益となりました。
レジャー・サービス業 ●京王プラザホテル、京王観光、京王エージェンシー、他 5社	営業収益 383億円(前年同期比 0.0%減) 営業利益 38億円(前年同期比 5.6%減)	●広告代理業では、前期における大型案件の受注の反動減などにより減収となりました。
その他業 ●京王設備サービス、京王重機整備(車両整備)、京王建設、他 9社	営業収益 260億円(前年同期比 21.3%増) 営業利益 15億円(前年同期比106.9%増)	●建築・土木業やビル総合管理業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。

※記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

[連結貸借対照表]

① 資産合計	8,346億円 前連結会計年度 2017年3月31日	➔	8,661億円 当第2四半期連結会計期間 2017年9月30日
② 負債合計	5,026億円 前連結会計年度 2017年3月31日	➔	5,212億円 当第2四半期連結会計期間 2017年9月30日
純資産合計	3,320億円 前連結会計年度 2017年3月31日	➔	3,448億円 当第2四半期連結会計期間 2017年9月30日
自己資本比率	39.7% 前連結会計年度 2017年3月31日	➔	39.8% 当第2四半期連結会計期間 2017年9月30日

① 資産合計は、手元資金や有形固定資産の増加などにより314億円増加し8,661億円となりました。

② 負債合計は、第36回・第37回無担保社債の発行などにより186億円増加し5,212億円となりました。

③ 営業活動によるキャッシュ・フローについては、流入額は34億円増加し328億円となりました。

④ 投資活動によるキャッシュ・フローについては、定期預金の預入による支出などにより流出額は91億円増加し420億円となりました。

⑤ 財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入などにより流入額は168億円となりました。

[連結キャッシュ・フロー計算書]

③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	293億円 前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日～2016年9月30日	➔	328億円 当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日～2017年9月30日
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△329億円 前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日～2016年9月30日	➔	△420億円 当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日～2017年9月30日
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△175億円 前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日～2016年9月30日	➔	168億円 当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日～2017年9月30日

通期の見通し

連結営業収益は4,342億円(前期比3.6%増)、連結営業利益は389億円(前期比2.4%増)、連結経常利益は367億円(前期比4.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は230億円(前期比8.7%増)を見込んでおります。

連結EBITDA*



※連結EBITDAは、営業活動によって得られたキャッシュ・フローを簡便的に示す指標で、連結営業利益+減価償却費+のれん償却額により算出しております。

株主優待のご案内



当社は2017年10月1日をもって、単元株式数の変更および株式併合を実施いたしました。こちらのご案内は、株式併合後の株主優待発行基準で表記しております。なお、株式併合前後で、お受け取りになる株主優待の内容に変更はございません。※単元株式数の変更および株式併合についての詳細は、11ページをご覧ください。

株主優待乗車証

ご所有株式数	① 株主優待乗車証	
200株以上 1,000株未満	200株につき 電車全線優待乗車券 4枚※1	
1,000株以上 1,400株未満		
1,400株以上 2,000株未満		
2,000株以上 2,400株未満		
2,400株以上 3,000株未満		
3,000株以上 3,400株未満		
3,400株以上 4,000株未満		
4,000株以上 4,400株未満		
4,400株以上 5,000株未満		
5,000株以上 5,400株未満		
5,400株以上 6,000株未満		
6,000株以上 11,400株未満		電車全線優待乗車券30枚+ 電車全線優待バス(定期券)1枚※3
11,400株以上		電車全線優待乗車券40枚+ 電車・バス全線優待バス(定期券)1枚※4

② 高速バス優待券※2
選択できません
2枚
3枚
4枚
5枚
6枚
7枚
8枚
9枚
10枚
11枚
20枚
30枚

①と②のいずれか1つを選択

「高速バス優待券」交換制度

「①株主優待乗車証」を「②高速バス優待券」と交換いただけます。

(①と②はどちらか一方のみの発行)

ご利用いただける高速バスの路線

- 松本線 ■ 長野線
- 安曇野・白馬線 ■ 飛騨高山線



12,000株以上ご所有の株主様は所有株式数に応じて、ご希望により「電車・バス全線優待バス」を「電車全線優待バス」複数枚と交換できます。

ご所有株式数	交換枚数
12,000株以上	電車全線優待バス 2枚
20,000株以上	電車全線優待バス 3枚
30,000株以上	電車全線優待バス 4枚
60,000株以上	電車全線優待バス 5枚
100,000株以上	電車全線優待バス 7枚
200,000株以上	電車全線優待バス 10枚

※1・※2 「電車全線優待乗車券」および「高速バス優待券」は1枚につき持参人ご1名様が1回限りご利用いただけます。「優待バス」は持参人ご1名様がご利用いただけます。京王電鉄バス、京王バス東、京王バス中央、京王バス南、京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バス、コミュニティバスはご利用になれません。

西東京バス「金額式IC定期券」交換制度

「株主優待乗車証」を西東京バスが発行する「金額式IC定期券」と交換いただけます。

金額式IC定期券の発行にはPASMOまたはSuicaが必要となります。PASMO・Suicaの発行には、デポジットとして500円が必要となります。上記以外の区間運賃・期間の金額式IC定期券についても、上記の金額式IC定期券との差額をお支払いいただければ交換可能です。※PASMOは株式会社バスモの登録商標です。Suicaは東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

必要となる株主優待乗車証の枚数	交換対象の金額式IC定期券
株主優待乗車券 28枚	区間運賃 170円・1カ月
電車全線優待バス、または電車・バス全線優待バス 1枚	区間運賃 200円・6カ月

さらに 長期保有株主優待制度

3年以上継続して1,000株以上保有している株主様※へ通常の株主優待に加えて発行いたします。

※当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して株式併合後の株式数に換算して1,000株以上保有され、株主番号が同一である方に限ります。

電車全線優待乗車券	8枚
京王れーるランド 入館券引換券	2枚
京王百草園 入園券	2枚
京王高尾山温泉 / 極楽湯 入館券	2枚
京王フローラルガーデン アンジェ 入園券	2枚

株主優待券

(持参人様にご利用いただけます)

年2回送付 基準日 3月31日 5月末送付 (有効期間6月~11月) 基準日 9月30日 11月末送付 (有効期間12月~翌年5月)

実施会社	ご優待内容	ご所有株式数		
		200株以上 1,000株未満	1,000株以上 2,000株未満	2,000株以上
京王百貨店	お買物金額10%割引 (税込3,240円以上のお買上げにつき)	10枚	20枚	30枚
京王ストア (京王ストア・キッチンコート 京王ストアエクスプレス)	お買物金額50円割引 (税込1,000円以上のお買上げごとに1枚利用可)	20枚		
京王アートマン (京王アートマン アートマン アートマン)	お買物金額10%割引 (税抜1,000円以上のお買上げにつき)	10枚		
京王食品 (ベーカリー&カフェ ルバ ベーカリー ルバ)	お買物金額10%割引 (税込1,000円以上のお買上げにつき)	10枚		
京王グリーンサービス (フラワーショップ京王 フラワーマルシェ)	お買物金額10%割引 (税込2,000円以上のお買上げにつき)	10枚		
京王プラザホテルチェーン	宿泊正規料金20%割引、ご飲食代10%割引 (サービス料・税込2,160円以上のご利用につき)	10枚	20枚	
京王観光	キングツアー5%割引 その他のパッケージツアー3%割引	10枚	20枚	
京王プレッソイン	シングルルーム宿泊正規料金50%割引 (指定日のみ利用可)	2枚		
京王自動車 (京王タクシー)	タクシー運賃100円割引 (1乗車につき1枚利用可)	3枚		
京王自動車 (車検・点検・整備)	工賃10%割引	2枚		
京王運輸	引越料金20%割引	2枚		
京王不動産	売買仲介手数料10%割引	1枚		
京王コスチューム	結婚式・祝賀会等ご列席用貸衣裳・振袖・七五三衣裳、記念写真・ポートレート写真 (証明写真除く) 10%割引	2枚		
京王レクリエーション (京王テニスクラブ)	テニススクール入会金無料、入会初回月会費50%割引 貸テニスコート料20%割引 (1面 [8名様まで] 1時間ごとに1枚利用可)	5枚		
京王レクリエーション (京王ゴルフ練習場)	打ち放題または入場料全日100円割引・平日200円割引 グローブ1枚引換券 (定期スクール入会時利用可)	各2枚		1枚
京王百草園	入園料20%割引	4枚		
京王フローラルガーデン アンジェ	大人入園料100円 (通常500円を割引)	4枚		
京王高尾山温泉 / 極楽湯	入館料100円割引	4枚		
京王グループカレンダー	引換券 (年1回 11月末送付の株主優待券に繰込み)	—	1枚	

※株主優待制度の最新情報については、当社ホームページをご覧ください。

会社概要

(2017年9月30日現在)

会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1
資本金	590億23百万円
従業員数	2,534名

役員一覧

(2017年9月30日現在)

代表取締役会長	永田 正	取締役	高橋 温
代表取締役社長	紅村 康	取締役	古市 健
専務取締役	高橋 泰三	取締役	川杉 範秋
常務取締役	丸山 荘	取締役	山本 護
常務取締役	仲岡 一紀	取締役	駒田 一郎
常務取締役	伊藤 俊司	取締役	川瀬 明伸
取締役	越水陽太郎	取締役	保木久仁彦
取締役	中島 一成	常勤監査役	黒岩 法夫
取締役	南 佳孝	常勤監査役	水野 諭
取締役	櫻井 俊樹	監査役	北村 敬子
取締役	寺田雄一郎	監査役	金子 正志

株式の状況

(2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,580,230,000株
発行済株式の総数	642,754,152株
株主数	33,198名

大株主 株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,939	5.6
日本生命保険相互会社	30,708	5.0
太陽生命保険株式会社	29,310	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,847	3.7
三井住友信託銀行株式会社	18,241	3.0

(注1) 当社は2017年10月1日をもって、単元株式数の変更および株式併合を行いました。上記株式の状況は、株式併合前(2017年9月30日現在)の状況を表示しています。

(注2) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除した株数に対する比率を表示しています。

(注3) 当社は自己株式を32,209千株所有していますが、上記大株主からは除外しています。

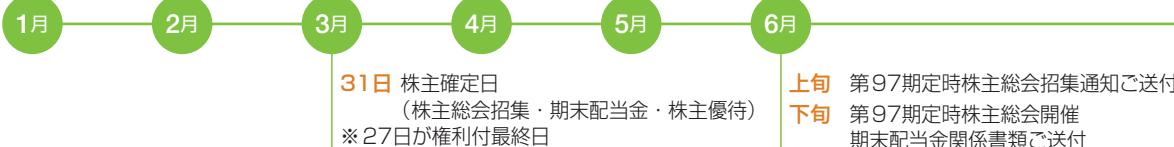
株式分布状況

(2017年9月30日現在)



株主カレンダー

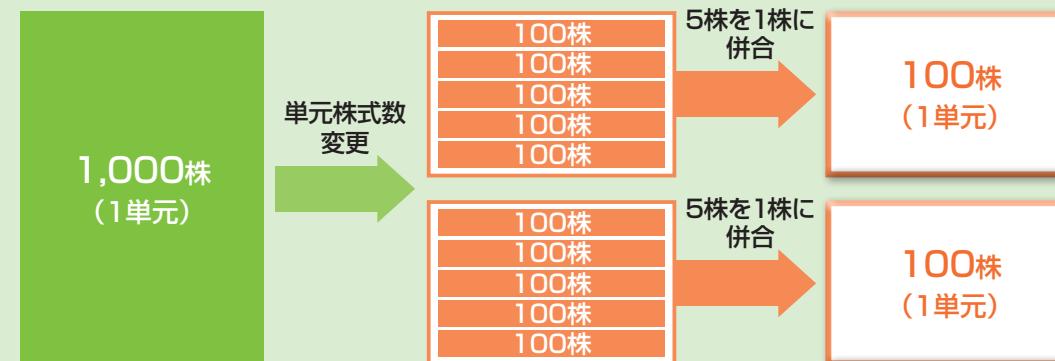
2018年



掲載の内容は2017年10月時点での予定です。

単元株式数の変更および株式併合について

当社では、全国証券取引所からの要請をふまえ、2017年10月1日をもって、当社株式の単元株式数を1,000株から100株に変更しました。また、これにあわせて、投資単位を適切な水準に調整するため、5株を1株とする株式併合を行いました。



- 単元株式数を1,000株から100株に変更し、5株を1株に併合しました。
- この結果、1,000株(=1単元)は、200株(=2単元)となりました。

端数株処分代金のお支払いについて

株式併合の結果、1株未満の端数が生じた株主様には、中間配当金とあわせて端数株処分代金をお支払いしております。詳細は、同封の「配当金および端数株処分代金計算書」をご覧ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日 (株主確定日)	定時株主総会議決権確定 毎年3月31日 期末配当金および株主優待 毎年3月31日 中間配当金および株主優待 毎年9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 (www.keio.co.jp/company/stockholder/koukoku/index.html)
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお問合せ先

株式に関するお手続き(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会および届出につきましては、証券会社に口座開設をされているか否かによってお問合せ先が異なりますので、以下をご参照ください。

- 【証券会社に口座を開設されている株主様】
➡ 口座を開設されている証券会社にお問合せください。
- 【証券会社に口座を開設されていない株主様(特別口座の株主様)】
➡ 三井住友信託銀行 証券代行部
☎ 0120-782-031 (平日9:00~17:00 土・日・祝休)
ホームページ www.smtb.jp/personal/agency/index.html